

1889年

富田先生が長谷部先生の後を引継ぎ、田中先生が福永先生を引き継ぐ。一柳先生もまたアカデミー（注 女学校）の援助に来る。

ライト先生が私の1年間の休暇帰国中、代理を勤めることになる。政府の認可した札幌女学校は成功せず、実業学校（注 実科女学校）に合併した。公立幼稚園が開設される。

本校生徒の氏名は次の通り。

高山 ナオ	相馬 ソノ	森
津島 サキ	白野 喜代	馬島 秀
飛鳥 タル	斎藤 光枝	マリア 夫人
花野 ホシ	島田 キヌ	三吉 秀
平野 マチ	佐藤 夫人	松浦 夫人
林 カオル	角 夫人	能登谷千代
川崎 フサ	岩谷 チカ	野原 サイ
河井 道	岩谷 イト	西田 コト
加藤 アキ	磯田 イト	赤城 梅
鬼頭 直	岩城 ムツ	阿部 秀
木原 ミネ	伊藤 夫人	内田 夫人
木村 マサ	吉本リュウ	上野 トシ
小平 小雪	山谷 ミツ	和田 夫人
黒柳 菊	宮原 ミネ	岩井マサジ
福岡 夫人	松村 夫人	

1889年の生徒総数は44名、うち17名が寄宿生、5名が給費生。

学校からの入金（授業料等） 416円50銭

伝道協会からの入金 720円

学校の収入総額 1,136円50銭。

幼稚園の園児の氏名は次の通り。

飛鳥 タル	佐藤 千代	森 四郎
土田慎太郎	島田 是文	馬島 千代